

平成 27 年度 第 2 回湯河原町総合教育会議会議録

日 時 平成 27 年 9 月 4 日（金）午後 1 時 30 分～

場 所 教育センター201 会議室

出席者 町長、副町長、教育長、早藤委員、石井委員、小松委員、貴田委員
（事務局）総務部長、地域政策課長、企画係長、福祉部長（説明員）
（教育委員会事務局）教育部長、社会教育課長、学校教育課長、図書館長、
美術館長

1 開 会

2 町長あいさつ

・皆様こんにちは。

今年度第 2 回の湯河原町総合教育会議開催にあたり、委員の皆様には大変お忙しいところ、ご出席を賜りありがとうございます。

案件につきましては次第にお示しの通りでございますが、案件の（2）につきましても、急なお話という印象があるかと思いますが、これまでの経緯とあわせてのちほど説明させていただき、情報の共有をしたいという思いでございます。

重要なことは、第一にまずこの骨子案のお示しができましたので、忌憚のないご意見をいただきながら今後の方向性をつけていただきたいと思いますので、会議の進行にご協力をお願いいたします。

3 教育長あいさつ

皆さん、こんにちは。

本日は、第 2 回の総合教育会議の開催、ありがとうございます。今回は、町長から教育に関する大綱の骨子案を示していただくことになっております。教育委員会といたしましても、町長がお考えになる教育施策の総合的な方向性につきまして、その思いを共有するとともに、委員それぞれの立場から意見を述べさせていただきたいと思っております。そして今後の町の教育文化の振興に関し、町長との連携を図りながら施策を推進する上で、その根本方針となることを願っております。

4 案 件

(1) 「湯河原町教育大綱」骨子案について

○資料1を説明（事務局）

○質疑

（早藤委員）

…この骨子案はよくできていると思いますが、いくつか質問をしたいと思います。まず施策の基本目標の1、2番と基本方針、キーワードとは合致していますが、基本目標の3、4、5について、キーワードの内容が十分に盛り込まれているのかどうか、そして基本目標の3、4、5が基本方針の中に読み込めないような気がします。重要な文言については、基本方針の中にもうまく入らないと、ちぐはぐになってしまうと思います。

（事務局）

…言葉そのものとしては、基本目標の言葉が方針に盛り込まれていない点がございますが、広い意味でとらえていただければ、基本目標の3、4、5にあてはまってくる部分があるのでないかと思います。

（早藤委員）

…このキーワードが盛り込まれていないと、基本方針に無理に読み込めるのかということになるので、何らかの形で入っていなければ不十分だと思います。

（教育長）

…基本目標の3については、基本方針の中の2番目に含まれます。4については、具体ではないですが広い意味で基本方針にとらえられており、その中に含まれるのではないかと思います。確かに、文言でみますと含まれているという表現は難しいかとも思います。

（早藤委員）

…今の説明もよくわかりますが、たとえば文化、スポーツあるいは芸術、運動などの文言が入ってこない、基本目標4、5について読み込むには無理があるかと思います。

（事務局）

…今回お示しした骨子案につきましては、次回確定させたいというスケジュールですので、この基本方針の中の文言については、もう一度精査させていただきたいと思います。

（町長）

…皆さんのお知恵をお借りしたいのですが、概念としては文化の中にスポーツも入るとするのは、無理がありますか。

（早藤委員）

…無理があると思います。

(町長)

…基本方針があまりに細かすぎてもどうかと思いますが、湯河原の伝統的な文化の継承などを意識していくには、確かにこの基本方針だと早藤委員のご指摘どおりの部分があります。

心身ともに健やかという意味合いについても、ここから読み取れるかという、やはり厳しいかと思います。文化と、心身ともに健やかということが連想される言葉が入れば、スポーツについても含まれるというイメージでよろしいでしょうか。

(早藤委員)

…そう思います。

(町長)

…では、今のお話のように文言を修正するか、あるいは項目を増やすか、という方向で調整をさせていただくことでいいでしょうか。

(石井委員)

…基本目標の生涯学習について、はっきりしないと思います。基本目標の中に、芸術・文化のはっきりとした表現を加えてもらいたいと思う。

(町長)

…では、事務局で芸術文化、心身ともに健やか、といった内容を連想するような表現を基本方針の中に盛り込むということで、よろしいでしょうか。

(早藤委員)

…どこの市町村でもこの教育大綱を作ると思うが、せつかく全国の市町村で作る中で、できれば湯河原ならではの教育が突出したものがあっていいのではと思います。

(事務局)

…5つの基本目標をこれから具体化していく中で、町長らしさを入れ込む考えを持っていますが、基本目標の表現にうたうことを検討したいと思います。

(町長)

…余談になりますが、地方創生に関連した中学生の意見をまとめた報告の中に、言葉は少し違いますが、人のあたたかさがまちを成長させるためには重要というような表現もありました。おもてなしという言葉では外から来る方へのこととイメージされますので、町民同士が人のあたたかさを感じられるような人づくりが教育に必要なだと思いますので、検討させていただきたいと思います。

(教育長)

…教育から地方創生をというテーマの中で、特に郷土愛をとらえて、郷土に貢献してもらうことを地方創生の1つとしています。

(町長)

…今いくつかいただいたご意見を踏まえて、基本方針が細かくなりすぎないようバランスも考えながら、再度お示しをさせていただき、ご意見をいただくという形でいかがでしょうか。

(事務局)

…そのように整理させていただきます。

(2) 旧湯河原中学校跡地について

○資料2を説明(福祉部長及び教育部長)

○質疑

(町長)

…このことについて、このまま進んだ場合のスケジュールですが、まず議会にグラウンドの設置条例廃止の提案をする手続きをすることと、教育施設の財産ですので、経緯等をあらためて皆さんに正式にご説明させていただきました。

(副町長)

…教育センターそのものが今後どういう形になるのか、青少年相談室や適応指導教室、外国人相談室などの施設がどうなるのかを、教育委員会から、もう少し委員に補足説明してください。

(教育長)

…今県との打ち合わせの中で、県の要望としては無償貸与ということですので、それに対して複合施設の建設を条件として出しています。

そういった中で、最低でも副町長があげられたような施設が入れるようにしていただきたいと要望しています。県がこれを受けてくれるかというのは現段階ではわかりません。

(石井委員)

…資料にある小田原養護学校の湯河原分教室についても、教育センターの場所に複合施設として建てるという事でしょうか。

(町長)

…町の考えとしては、いくつかの施設を複合施設として建てたいということですね。

(教育長)

…そのように打診をしております。

(石井委員)

…県がダメだといった場合はどうなりますか。

(町長)

…その場合はまた考えなければいけないです。

(教育長)

…いずれにしましても取り壊しになりますから、その間のことも検討が必要です。

(早藤委員)

…今の湯河原病院は5階か6階建てだと思いますが、この場所は住居地域として指定がある中で、この一等地に病院施設が向いているのかどうか、環境はお金に変えられないという考えで、交通の利便性はお金をかければなんとかなります。よそではこのような計画は山間部が多いと思いますが、湯河原町として、ほかの場所にこの計画を持っていく考えはないのでしょうか。

(副町長)

…民地も含め、別の場所についても検討しましたが、先方が言う約1万8千㎡が確保できる用地はありませんでした。また、この場所を希望している理由として、今の病院の場所が急傾斜地の崩壊危険区域ということから、同じ場所での建て替えが難しく、別の場所に移転する際の選択肢としては、町内か町外かということになり、町内に適地がなければ町外に出ていくという考え方を示されました。

そのような話がある中、県の教育長が7月に来庁され、旧中学校跡地利用計画の中で養護学校建設の計画が急に出されました。養護学校につきましては、以前は、面積が3千㎡、プールが必用ということでしたが、いろいろな相談をした中で、面積は2千㎡でいい、プールは不要ということでしたので、ジェイコーとしては、町民グラウンドの1万8千㎡の土地がいいという経過でした。

この場所は、高さ15メートル、通常では5階という規制がありますが、病院では、1フロアが4～5メートルの場合があるという事ですので、3階建が最大になる可能性が高いと思われます。仮に教育センター側に6メートルの道路を計画すれば、高低差があるので、1階部分が地下となる可能性があり、地下駐車場とすることも考えられます。

(町長)

…ジェイコーという組織からの話が今年の4月以降、急に高まってきたわけですが、年金病院の存続は必要だということが、町民の総論だということ

とがずっとあります。以前、国の財産をR F Oに所有権移転し民間に売るという考えがあったと思いますが、手続きとして市町村と県知事の意見を聴くという一項があり、交渉をした中で厚生労働省の職員も来て、国としては民間に売りたいが、町としてどう思うかという非公式の訪問を受けましたが、私としては突然聞かれて、個人的な判断だけでは決めきれないので、先行的に湯河原では、保健センターが中心となって会議を開きましたが、最終的にはジェイコーという組織に改組され、病院医療の運営について、公立のものも含めて、赤字の病院には補てんをしないということが法律に明記されているようで、湯河原の厚生年金病院も単独では成り立たないけれども、ここからは推定ですが、おそらくジェイコーの中で利益のんでいる病院とそうでないものを相殺することはできるという仕組みだろうと思います。

過去の経緯からも、最終的にこの病院を湯河原に残すか、この場所がだめならやめてしまうか、というのは間違いないことだと思います。

この話が急きょ4月にこのような形になって、ここで話をせざるを得ないという状況です。

(早藤委員)

…一般的には、まず環境を整えることができるかということで、相談するのが今までのやり方だと思うが、今回ジェイコーがこの場所でなければいけないと言ってくるのが納得いかない。町の方に、病院を残すためにどこか代替え地がないかといってきた、いくつかの選択肢から調整するのが普通だと思う。

病院の跡地は、汚染の問題などでほとんど使えなくなる。そのことから考えても、その後5年、10年先はいいですけど、もし経営が破たんした時に、この一等地が汚染されてしまうと、回復に時間とお金がかかってくるということがあるのではないか。

(町長)

…専門的な部分の知識を持ちあわせていませんが、病院を残したいという町民の総意があることと、災害の拠点になるということがあると思います。仮にここを売却した場合、町にその利益が入るわけですが、町民としてはその使い道を心配されると思います。私の考えとしては、その売却益で新たな基金を造成して、古くなった各地域会館の適正な配置に向かって、活用できるのではないかと考えています。

さきほどの厚生年金病院の運営の経緯から見ても、この病院が残るとするのはまだいいほうだと思いますが、この話を断ればおそらく撤退となる

ことは間違いなく、また2～3年かけて検討という時間の猶予もないという印象をもっています。

養護学校についても、8年ほど前から県にずっと要望してきた経緯です。当時、神奈川県が湯河原高校を買う時に、この問題と、万葉荘の3つをセットにして考えましょうということからスタートしていますが、高校だけ買って中学校を移転した、そのあとに県の体制が変わり話が消えてしまった。

ここへきて県の教育長が当時の経緯を全部知っている方に変わり、急きよこの話が復活し、土地を無償で貸してほしいとの話が持ち上がっていますので、養護学校についてはもともと町側がリクエストした話をようやく8年たって、県の方で調査費を上げましょうというところへきてますので、ジェイコーの話とは違うという意見をお伝えします。

まずはこのような内容につき、早めに情報提供し、皆さんに共有していただきたいと思い、この案件をお話しさせていただきました。

さきほどご意見のありました病院跡地の問題、また病院が破たんした場合のことなどもトップとして考えていかなければいけないと思いますので、今後の折衝の中でしっかりと伝えることも必要だと思っています。

(小松委員)

…養護学校の資料の人数については、湯河原・真鶴地域の希望人数すべてが収まるのでしょうか。

(教育部長)

…現状で、湯河原から13人、真鶴から4人の17人で、人数的にはある程度の余裕はあり、受入れは可能と考えています。

(町長)

…今後の問題として、今は遠いために普通学校へ行っている潜在者がいるので、近ければ通いたいという声も多くありますので、県へ再三お願いしてきました。

今の委員の意見に対し、潜在者の把握は必要だと思えますし、高校は義務教育課程ではないので、今は配慮で乗れるようですが、昔はバスに乗れなかったのが家族が送り迎えする負担もあって、湯河原にぜひ分教室が欲しいという状況でここまで来ましたので、今後の交渉の中で人数などは話していきたいと思いますが、現状では足りている、ということです。

(早藤委員)

…さきほどの病院の件ですが、今後の展開の中で病院側が現在の機能を基本に進めていくということですが、総合病院でなくても、外科のない大き

な病院では、手術が必要な場合は小田原へ行かなければならないので、要望として外科を入れるとか、総合病院としての機能を持たせるものがあつたほうが、救急医療からも必要だと思いますので、そのような要望ができるようでしたらお願いしたい。

(町長)

…今いわれました要素や、難しいとは思いますが産科、小児科の配置や助産師が活躍できるスペースの確保などといった声は実際にありますので、今後伝えていきたいと思いますが、それがかなうかどうかはわかりませんが、ご指摘のとおりだと思いますので、今後方向性が定まった場合には、防災面の拠点としての機能、駐車場スペースの一般利用の可能性など、地域からのいろいろなリクエストについて、きちんと折衝の中で伝えていきたいと思っています。

(貴田委員)

…何年か前に、この中学校跡地を総合教育施設にしたいという話があつたと思うが、どうなっているのかということと、中学校の部活がこのグラウンドを毎日使っていますけれども、その代わりはどう考えるのかということについて、いかがでしょうか。

(教育長)

…総合教育施設というものは承知していませんが、移転にあたりまして、町民グラウンドと養護学校、防災センターと、統合保育園の設置についても計画にはありました。

また中学校の部活の件ですが、野球部と陸上部が使っておりますので、今後検討していかなければいけないと思います。野球につきましては、現在の中学校にバックネットが無いので、それをどうするか調整の必要があります。

(町長)

…これからも、細かな課題がまだまだ出てくるかと思いますが、一つ一つ調整しなければならないと思います。

(副町長)

…中学校が現在の場所に移転した時と同じように、中学校の教頭先生に町のプロジェクトチームに入っていただく形になると思います。現在の状態での図面等の概略はできていますので、今後、グラウンドでの部活動利用の件も含めまして、中学校との連携をとることが必要と考えております。

一番は、養護学校を複合施設として色々な団体が入れるような形ですが、もし難しい場合は、2千㎡を養護学校に当てた残りの710㎡で施設を考

えるのか、また、今はRCではなくたんぽぽのように木造平屋が安価であるとか、プラネタリウムのある場所を防災拠点として整備できれば、町道沿いの面に防災拠点、その上の体育館のレベルに教育センターという考え方もできるかとも思っています。

このように、今後の県教育委員会との相談の中で、色々流動的になるのではないかと考えています。

(早藤委員)

…町のいろいろなイベントがある中で、これだけの駐車場のあるスペースがほかにはないので、そこにもものを作ってしまうと駐車場にならないので、この駐車場だけは狭くならないようにキープしていただきたい。

(副町長)

…町の議会には、この駐車場の一部を保育園という図面を示させていただいておりますが、保育園を「八雲」と「まさご」を1つにするという中で、新たな津波の想定なども出ていることから、手続きには時間がかかりますが、まさご保育園隣の若宮公園を都市計画決定の中で廃止して、新たな津波の想定に耐えられる高さにし、屋上を避難場所にするという形の計画に切り替え、駐車場については、広域避難場所とあわせるような計画で進めたいと考えています。

また、6メートルの道路については、災害時に病院と行き来ができることも考えています。

(町長)

…災害協定をどこまでしっかりとしたものができるのかということが出てきますので、災害拠点としての病院の位置づけが、今後話が進んだ場合にはもっとも重要だと思います。

住民の安心・安全にもつながると思いますし、新しい施設は耐震性が高いというのが当然だと思いますので、計画通りにできれば、このエリアがすべて免震性のある施設が集積されることになりますので、一つのメリットとして出てくるかなと思います。

駐車場スペースの確保については確かに施設をつくと狭くなってしまいう懸念がありますが、病院の外来が休みの時など、町民の利用の仕組みなども考えて、町側からもお願いをして、休日のイベントの際の駐車場利用のルールをつくるなど、話し合いをして了解が得られれば町益につながるということになると思います。

養護学校については、複合的なものが可能となれば、県や国の起債などいいメニューを探すことも重要だと思いますし、この周辺は災害拠点とす

る考えもありましたので、そういう方向に進めばという思いもあります。
(町長)

…では、(2)の案件につきましては、情報の共有をさせていただき、今後の手順などのご報告も必要と思っておりますので、今日はここまでにさせていただきます。

(3) その他

(事務局)

…次回につきましては、11月中旬ころに開催したいと思います。

5 閉 会